

第6 令和4年度企業会計決算の状況

企業会計は、県が独立採算性を原則とする企業の色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、流域下水道事業、病院事業、電気事業の5事業の経営を行いましたので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

1 水道事業の概況

営業関係では、北中勢水道用水供給事業（北勢系・木曾川水系：給水能力80,300³m³/日、北勢系・三重用水系：給水能力51,000³m³/日、北勢系・長良川水系：給水能力18,000³m³/日、中勢系・雲出川水系：給水能力81,416³m³/日、中勢系・長良川水系：給水能力58,800³m³/日）及び南勢志摩水道用水供給事業（給水能力139,850³m³/日）の2事業を運営し、令和4年度は県内18市町に対し、延べ75,729,557³m³の給水を行いました。

令和4年度の営業成績について、事業収益は8,999,336千円（対前年度比95.5%）で、内訳は、営業収益8,103,086千円（対前年度比99.9%）及び営業外収益896,250千円（対前年度比68.1%）であり、また、事業費用は8,928,226千円（対前年度比98.9%）で、内訳は、営業費用8,661,514千円（対前年度比104.7%）及び営業外費用266,711千円（対前年度比35.1%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額71,110千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、地震等の災害に備えるとともに水道用水の安定供給を図るため、北中勢水道用水供給事業及び南勢志摩水道用水供給事業において耐震化や老朽化対策などの施設改良を計画的に実施しました。

令和4年度損益計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	8,661,514	営業収益	8,103,086
原水及び浄水費	2,443,462	給水収益	8,098,217
配水費	677,945	その他営業収益	4,869
業務費	382,977		
総係費	357,802		
減価償却費	4,478,063		
資産減耗費	321,265		
営業外費用	266,711	営業外収益	896,250
支払利息及び企業債取扱諸費	244,054	受取利息	379
受託工事費	12,012	他会計補助金	41,021
雑支出	10,646	受託工事収益	12,012
		長期前受金戻入	840,781
		雑収益	2,056
当年度費用合計	8,928,226		
当年度純利益	71,110		
合 計	8,999,336	合 計	8,999,336

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和4年度損益計算書<P/L>（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
営業費用 8,661,514 (96.2%)	営業収益 8,103,086 (90.0%)
営業外費用 266,711 (3.0%)	営業外収益 896,250 (10.0%)
当年度純利益 71,110 (0.8%)	
合計 8,999,336	合計 8,999,336

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

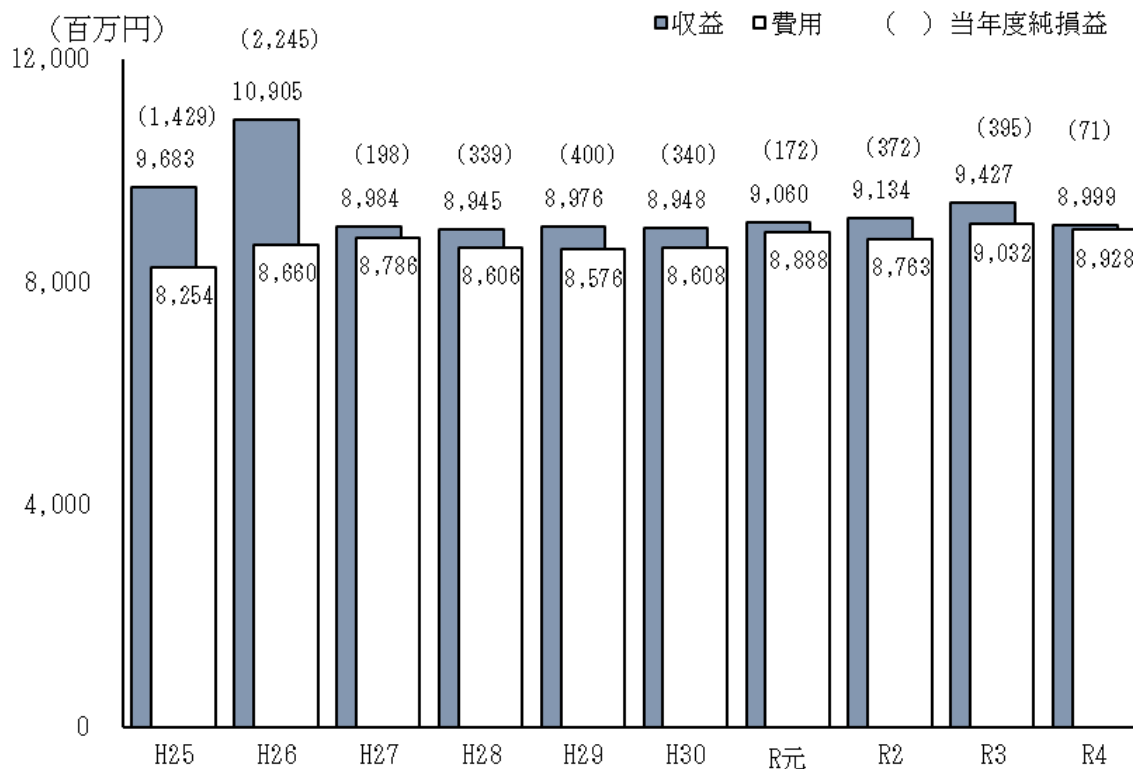
貸借対照表<B/S> (令和5年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
固定資産 116,856,644 (90.5%)	固定負債 12,224,789 (9.5%)
	流動負債 2,828,540 (2.2%)
	繰延収益 21,397,266 (16.6%)
	資本金 91,272,185 (70.7%)
流動資産 12,201,317 (9.5%)	剰余金 1,335,180 (1.0%)
	資本剰余金 869,153
	利益剰余金 466,027
合計 129,057,961	合計 129,057,961

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 754,990 m³/日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 14,970 m³/日）及び松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 m³/日）の3事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、令和4年度においては105工場に対し、延べ212,995,905 m³の工業用水を供給しました。

令和4年度の営業成績について、事業収益は5,800,653千円（対前年度比100.4%）で、内訳は、営業収益5,431,074千円（対前年度比100.3%）、営業外収益369,579千円（対前年度比102.0%）であり、また、事業費用は5,710,250千円（対前年度比105.9%）で、内訳は、営業費用5,528,653千円（対前年度比106.2%）、営業外費用181,598千円（対前年度比99.7%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額90,403千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽化施設の更新・補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

令和4年度損益計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	5,528,653	営業収益	5,431,074
原水及び浄水費	1,740,139	給水収益	5,199,541
配水費	262,291	その他営業収益	231,533
業務費	353,613		
総係費	322,547		
減価償却費	2,703,489		
資産減耗費	146,573		
営業外費用	181,598	営業外収益	369,579
支払利息及び企業債取扱諸費	167,423	受取利息	202
受託工事費	13,593	他会計補助金	2,894
雑支出	582	受託工事収益	13,593
		長期前受金戻入	348,591
		雑収益	4,300
当年度費用合計	5,710,250		
当年度純利益	90,403		
合 計	5,800,653	合 計	5,800,653

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和4年度損益計算書<P/L> (令和4年4月1日~令和5年3月31日)

(単位:千円、% (構成比))

	借方	貸方
	営業費用 5,528,653 (95.3%)	営業収益 5,431,074 (93.6%)
	営業外費用 181,598 (3.1%)	営業外収益 369,579 (6.4%)
当年度純利益 90,403 (1.6%)	合計 5,800,653	合計 5,800,653

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

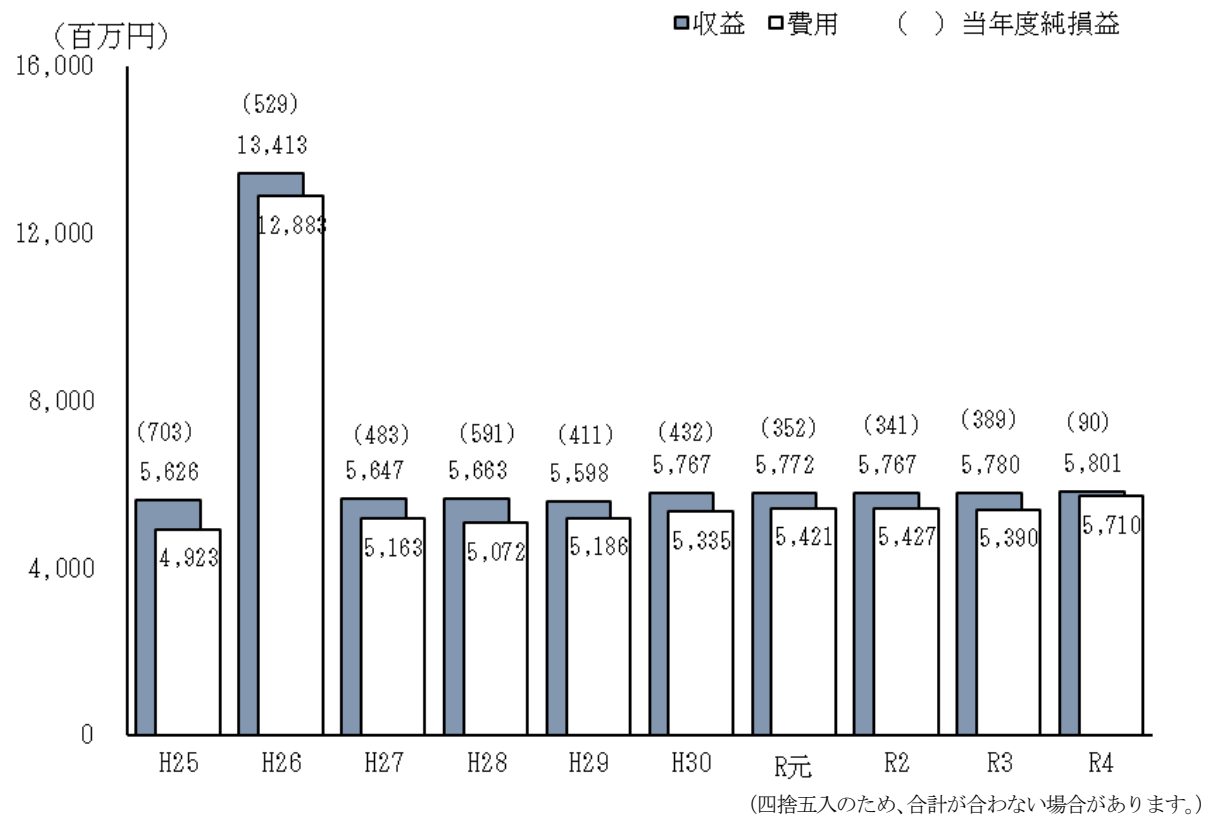
貸借対照表<B/S> (令和5年3月31日現在)

(単位:千円、% (構成比))

借方	貸方
	固定負債 24,879,578 (20.5%)
	流動負債 1,602,623 (1.3%)
	繰延収益 16,547,902 (13.6%)
固定資産 113,662,869 (93.6%)	資本金 76,697,825 (63.2%)
流動資産 7,773,534 (6.4%)	剰余金 1,708,475 (1.4%)
	資本剰余金 1,228,732
	利益剰余金 479,743
合計 121,436,403	合計 121,436,403

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



3 流域下水道事業の概況

営業関係では、北勢沿岸流域下水道事業（北部処理区：処理能力149,500m³/日、南部処理区：処理能力64,600m³/日）、中勢沿岸流域下水道事業（志登茂川処理区：処理能力11,300m³/日、雲出川左岸処理区：処理能力40,200m³/日、松阪処理区：処理能力39,000m³/日）及び宮川流域下水道事業（宮川処理区：処理能力26,800m³/日）の3流域6処理区を運営し、令和4年度は県内15市町からの汚水83,988,176m³を処理しました。

令和4年度の営業成績について、事業収益は13,063,735千円（対前年度比99.1%）で、内訳は、営業収益5,484,780千円（対前年度比103.9%）、営業外収益7,578,955千円（対前年度比96.0%）であり、また、事業費用は12,954,605千円（対前年度比100.1%）で、内訳は、営業費用12,226,501千円（対前年度比99.7%）、営業外費用602,425千円（対前年度比89.7%）及び特別損失125,678千円（対前年度比1,219.9%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額109,130千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、流域下水道の整備を推進するとともに施設の老朽化対策など施設改良を計画的に実施しました。

令和4年度損益計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	12,226,501	営業収益	5,484,780
管渠費	35,124	維持管理負担金収益	5,477,657
ポンプ場費	113,954	その他営業収益	7,123
処理場費	4,376,697		
総係費	145,490		
減価償却費	7,504,538		
資産減耗費	40,093		
その他営業費用	10,605		
営業外費用	602,425	営業外収益	7,578,955
支払利息及び企業債取扱諸費	542,786	受取利息及び配当金	0
雑支出	59,639	他会計補助金	604,139
		長期前受金戻入	6,914,863
		雑収益	59,953
特別損失	125,678	特別利益	—
その他特別損失	125,678	その他特別利益	—
当年度費用合計	12,954,605		
当年度純利益	109,130		
合 計	13,063,735	合 計	13,063,735

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和4年度損益計算書＜P/L＞（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
	営業収益 5,484,780 (42.0%)
営業費用 12,226,501 (93.6%)	
営業外費用 602,425 (4.6%)	営業外収益 7,578,955 (58.0%)
特別損失 125,678 (1.0%)	
当年度純利益 109,130 (0.8%)	
合計 13,063,735	合計 13,063,735

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

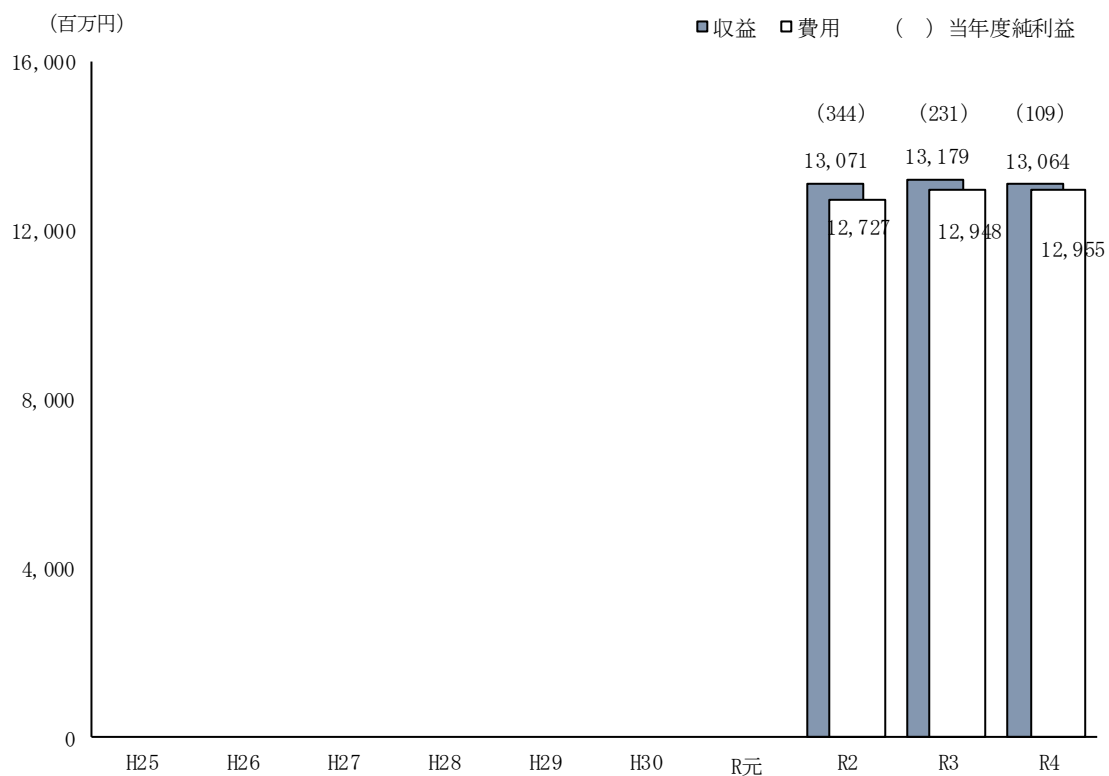
貸借対照表<B/S> (令和5年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方		貸方	
		固定負債	35,864,030 (15.2%)
		流動負債	6,180,321 (2.6%)
固定資産	231,872,966 (98.2%)	繰延収益	164,198,288 (69.5%)
		資本金	9,694,471 (4.1%)
流動資産	4,346,979 (1.8%)	剰余金	20,282,835 (8.6%)
		資本剰余金	19,673,832
		利益剰余金	609,003
合計	236,219,945	合計	236,219,945

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

※令和2年度から地方公営企業法の一部を適用しているため、令和元年度以前の損益情報はありません。

4 病院事業の概況

三重県病院事業においては、こころの医療センター、一志病院及び指定管理者制度を導入している志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんや地域に信頼され、かつ医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進めながら、良質で満足度の高い医療サービスを提供しているところです。

令和4年度は、こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの取組など、それぞれの役割やニーズに応じた病院運営を行うとともに、経営の健全化に取り組みました。志摩病院においては、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会により、診療機能の充実を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めました。また、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」）に関しても、感染患者の受入れや臨時応急処置施設等への医療従事者の派遣、ワクチン接種・検査などに関係機関と連携しながら対応しました。

これらの3病院の運営状況については、入院患者数が延べ140,987人（1日平均386.3人）、外来患者数が延べ124,253人（1日平均511.3人）で、前年度に比べ入院患者数は延べ2,287人の減少、外来患者数は延べ6人の増加となりました。

収益については、新型コロナウイルスに係る国からの交付金が減少し、医業外収益が減少したことなどから、経常収益は5,777,453千円となり、前年度に比べ6.1%減少しました。

また、費用については、医業費用において経費等が増加したことなどから、経常費用は5,254,414千円となり、前年度に比べ1.3%増加しました。

その結果、これらを差引した経常損益は523,039千円の黒字となりました。

なお、建設改良費については、こころの医療センターにおける診療本館ほかエレベータ改修工事や一志病院における医療情報システム構築、志摩病院における病棟屋上防水・外壁改修工事等により総額685,123千円を執行しました。

令和4年度損益計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	5,040,827	医業収益	2,371,651
給与費	2,711,251	入院収益	1,748,267
材料費	242,401	外来収益	472,633
経費	1,506,642	その他医業収益	150,752
減価償却費	557,974		
資産減耗費	14,634		
研究研修費	7,925		
医業外費用	213,587	医業外収益	3,405,802
支払利息及び企業債取扱諸費	79,258	受取利息配当金	39
長期前払消費税償却	26,125	他会計補助金	136,104
患者外給食材料費	213	長期前受金戻入	246,169
雑損失	107,991	補助金	5,059
		負担金	2,798,133
		その他医業外収益	220,299
特別損失	-	特別利益	-
当年度費用合計	5,254,414		
当年度純利益	523,039		
合 計	5,777,453	合 計	5,777,453

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

損益計算書＜P/L＞（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方		貸 方	
		医業収益	2,371,651 (41.1%)
医業費用	5,040,827 (87.2%)	医業外収益	3,405,802 (58.9%)
医業外費用	213,587 (3.7%)		
特別損失	-		
当年度純利益	523,039 (9.1%)	特別利益	-
合 計	5,777,453	合 計	5,777,453

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

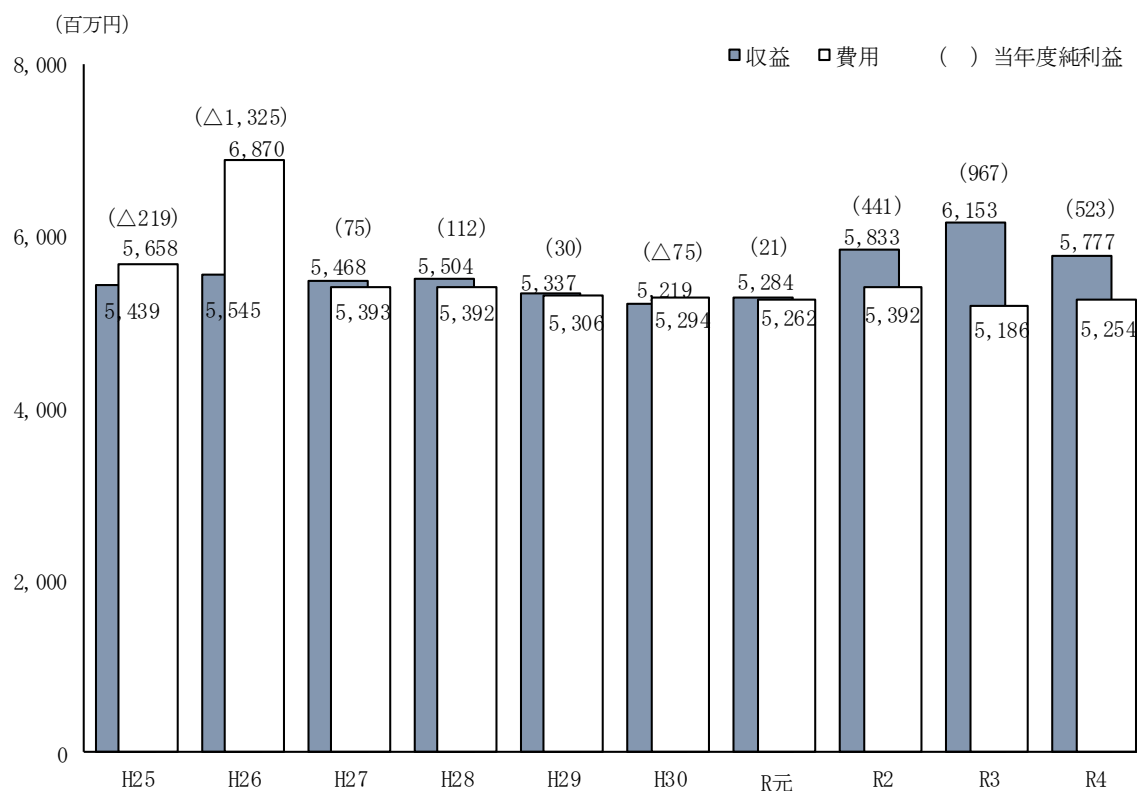
貸借対照表<B/S> (令和5年3月31日現在)

(単位：千円、%(構成比))

資 産		負債・資本	
固定資産	7,992,068 (75.9%)	固定負債	10,896,534 (103.5%)
		流動負債	1,370,924 (13.0%)
		繰延収益	3,864,421 (36.7%)
		資本金	311,410 (3.0%)
流動資産	2,533,686 (24.1%)	剰余金	△5,917,536 (△56.2%)
		資本剰余金	1,371,559
		欠損金	7,289,094
合計	10,525,753	合計	10,525,753

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

5 電気事業の概況

電気事業については、RDF焼却・発電施設撤去工事が令和5年3月10日に完了し、これまで電気事業で実施してきた全ての事業が終了したことから、令和5年3月31日をもって電気事業を廃止しました。

令和4年度の営業成績について、事業収益は8,159千円（対前年度比536.9%）で、その内容は、営業外収益8,159千円（対前年度比536.9%）であり、事業費用は1,264,898千円（対前年度比97.1%）で、内訳は、営業費用1,186,363千円（対前年度比143.9%）、営業外費用78,535千円（対前年度比120.4%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額1,256,739千円が当年度の純損失となりました。

令和4年度損益計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	1,186,363	営業外収益	8,159
一般管理費	1,186,363	受取利息	30
営業外費用	78,535	他会計補助金	665
支払利息	0	雑収益	7,464
雑支出	78,535		
		当年度収益合計	8,159
		当年度純損失	1,256,739
合 計	1,264,898	合 計	1,264,898

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和4年度損益計算書<P/L> (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
 (単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
	営業外収益 8,159 (0.6%)
営業費用 1,186,363 (93.8%)	当年度純損失 1,256,739 (99.4%)
営業外費用 78,535 (6.2%)	
合計 1,264,898	合計 1,264,898

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

貸借対照表<B/S> (令和5年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
	流動負債 159 (0.0%)
固定資産 360,000 (47.4%)	資本金 3,810,883 (502.2%)
流動資産 398,807 (52.6%)	剰余金 △3,052,236 (△402.2%)
合計 758,807	合計 758,807

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移

